

当面する諸案件を報告

大網白里市議会第2回定例会 市長事務報告

6月6日から23日まで、市議会第2回定例会が開催されました。開会日には市長から事務報告がありましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等は広報8月号でお知らせします。

財政

平成25年度の会計は、現在、決算の調整中ですが、決算規模は普通会計歳出ベースで140億円程度、執行率は経済対策に伴う3月補正分を含めて、92%程度と見込んでいます。

歳入の市税については、前年度より増収となり、予算額を確保できるものと見込んでいます。また、各種交付金については、株式等譲渡所得割交付金および自動車取得税交付金の増加により、前年度に比べ7千万円ほどの増収、さらに、地方交付税についても、市制施行に伴う需要額などの増加により、前年度に比べ、8千万円ほどの増額となる見込みです。

歳出については、生活保護扶助費が通年分になったことなどにより民生費の増額が見込まれるほか、中央公民館大規模改修事業の実施による教育費の大幅増の影響により、前年度より4億円程度の増額となる見込みです。

なお、歳入・歳出の差し引きから翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額については、約4億円を見込んでいます。

圏央道スマートインターチェンジ

現在、本市では、平成25年

度に取り組んだスマートインターチェンジ設置に伴う地域活性化に向けた方策の検討結果を踏まえ、スマートインターチェンジ周辺地域の土地利用方針の見直しに関する調査に着手しています。

再生可能エネルギー

現在、本市では地域に根ざしたエネルギー供給の確保に向けた調査・検討を進めており、今後は将来の事業化も視野に入れながら、本市の地域特性に応じた再生可能エネルギー等の活用に関する調査・検討を進めていきます。

防災

地域防災計画については、市民および関係機関からのさまざまな意見を踏まえ、改訂版策定の運びとなりました。

今後は、この新たな地域防災計画を柱に、計画的な防災行政の推進に取り組み、関係機関および地域と一体となった市全体の防災力の強化を図っていきます。

また、地震、津波、風水害など、いざというときの災害に備えた対応や避難場所など

を掲載した防災ハンドブックを作成し、全世帯に配布しました。今後も、地域・家庭単位での防災意識の向上に努めていきます。

住民参加のまちづくり

住民協働事業は2年目を迎え、本年度においては、採択された7団体の事業が4月よりスタートしたところです。これらの事業が期待に沿う効果を上げることができるよう、専門的知識を有するアドバイザーからの助言、情報提供等を行うていきます。

環境

ごみの散乱防止と環境保全意識の高揚を図ることを目的としたゴミゼロ運動が、5月25日に市内各地区で実施され、自治会等、約8,100人の参加のもと、空き缶など約10トンの資源を回収することができました。

社会福祉

平成26年4月からの消費税率の引き上げに際し、所得の低い方や子育て世帯の負担を減らすため、「臨時福祉給付金」、「子育て世帯臨時特例給付金」が支給されることとなりました。現在、支給に向けて準備を進めているところです。なお、受付期間につい

ては、7月から12月までの6カ月を予定していますが、期間内における円滑な請求手続きが可能となるよう、市広報紙やホームページ等を通じて周知を図るとともに、対象者に対する申請書類の郵送サービスを実施します。

児童福祉

子ども医療費助成事業については、助成対象者枠の拡大に向け、保護者への周知および医療機関等との調整が整い、4月から通院・調剤費の助成対象を中学校3年生までに拡大したところです。

なお、この拡大部分については、現在、償還払いで対応していますが、8月以降は、これを受給券発行による現物給付とすることで、さらに利用しやすい制度となるよう、準備を進めていきます。

介護施設整備

池田地区で整備を進めていた認知症高齢者グループホームについては、3月末に施設が完成し、去る5月1日に「ほえみの里・かきつばた」として開設したところです。

また、みどりが丘地区で整備を進めています複合型サービス事業については、4月から建設工事が開始され、本年8月の完成に向けて、工事を進めているところです。

さらに、千葉県と協議を行っている特別養護老人ホーム整備事業については、去る4月30日付けで、県から事業候補者に対し、施設整備に係る補助金の内示があり、現在、建設工事等の準備を進めてい

健康増進

例年実施している集団がん検診および個別がん検診の申込受付を開始しました。

本年度は、乳がん・子宮がん検診に加え、大腸がん検診についても、節目年齢となる対象者に無料クーポン券を発送しており、受診率の向上と併せ、病気の早期発見・治療による健康づくりを促進していきたいと考えています。

商工観光

商工会と連携して実施したプレミアム商品券発行支援事業については、4月25日に販売を開始したところ、大変な反響を呼び、3日間で完売となる盛況ぶりでした。

夏期観光については、夏の海水浴シーズンに向け、7月1日から8月31日までの62日間、白里中央海水浴場および南四天木海水浴場を開設することとしました。

また、市民自らが参加し、手作りの「まつり」を実施することと「ふるさと意識」の高揚を図る「浜まつり」については、8月9日に開催することが決定しました。現在、実行委員会および運営委員会にて協議検討が重ねられています。

都市整備

都市計画は、社会経済状況の変化に適切に対応するため、概ね5年ごとに見直しが行われており、県では、県内全域の都市計画区域を対象に、平成27年度末の決定を目標とし

た見直し手続きに着手したところです。本市においても、県の見直しに併せて、総合的な都市計画の見直しを進めているところですが、県の見直しの視点として、人口減少、超高齢社会に適応したまちづくりが掲げられていることから、総合計画に示された「住みたい、住み続けたいまち」の実現に向けた都市計画の立案を目指し、関係機関と密接な協議、調整を進めていきます。

下水道

浄化センターの改築更新事業の進捗状況については、最初沈殿池周りの機械設備および中央監視室など運転操作設備を更新し、使用を開始したところです。

今後は、水処理設備・汚泥処理設備に係る機械設備や電気設備、建屋全般の空調換気設備や建具類について、平成27年度まで更新を継続していく予定です。

また、平成28年度以降に予定している、汚水中継ポンプ場施設を中心とした改築更新事業については、今年度より長寿命化計画の策定に取り組み予定です。

ガス事業

本市ガス事業の経営は、平成22年2月の大網白里市ガス事業運営委員会による「ガス事業の経営のあり方について」の答申を受け、常に経営状況の把握に努めているところですが、このところの家庭向けのガス販売量の伸び悩みと原料価格の値上げなどの要因

に加え、経年管対策をはじめとする安定供給の確保と、持続可能な経営を維持するためには、ガス料金について見直しをせざるを得ない状況です。今後は、市議会はもとより、市民、需要家の皆様にも随時、情報提供を行い、ご理解をいただきながらガス料金の見直し作業を進めていきます。

学校教育

昨年度、市内各小中学校において「いじめ防止基本方針」を策定するとともに、本年4月には、教育委員会においてもいじめ防止に向けた基本方針を策定したところです。

いじめ防止に向けた対応については、単なる表面上の措置にとどまることなく、日ごりからのいじめ防止に向けた教育、学校と地域・家庭・関係機関等との連携、いじめが発生した際の迅速な対応、そして何より、いじめを受ける側の気持ちに配慮した取り組みが重要と認識しています。

全ての児童生徒が明るく楽しい学校生活を送ることができるよう、全力で取り組みます。

生涯学習に対する意識の高まり、学習意欲を持つ年齢層の拡大などの情勢に合うよう、生涯学習推進計画の見直しを行いました。新たな計画のもとで生涯学習の推進に努めます。

大網白里市長選挙の日程が決定

6月2日開催の選挙管理委員会において、任期満了(平成27年1月16日)により行われる大網白里市長選挙の日程が決定しましたので、お知らせします。

- ▶ 投開票日 = 12月21日(日)
 - ▶ 告示日 = 12月14日(日)
- 選挙管理委員会事務局
☎(70)0397



生涯学習

生涯学習に対する意識の高まり、学習意欲を持つ年齢層の拡大などの情勢に合うよう、生涯学習推進計画の見直しを行いました。新たな計画のもとで生涯学習の推進に努めます。

また、本市の生涯学習の拠点施設である中央公民館については、大規模改修工事が完了し、4月1日から業務を再開したところです。今回の工事により施設の耐震化が図られるとともに、エレベーター、授乳室、バリアフリー化されたトイレなどの諸機能が新たに備わり、より一層の利便性を有する施設として生まれ変わったところです。この中央公民館の改修を契機に本市の生涯学習がますます活発化することを期待します。



▲リニューアルした中央公民館